

## 県立水戸桜ノ牧高等学校常北校自己評価表

目指す学校像	県立水戸桜ノ牧高等学校常北校として、校訓の「至誠、勤勉、協和」の精神を徹底させ、心身ともに調和のとれた人間形成を図ると共に、地域社会に貢献できる学校づくりを目指す。		
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成状況
<p>〈成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習指導の面では、少人数習熟度別授業やチームティーチング等でのきめ細かい指導を通して、学習意欲及び理解度の向上が図れた。</li> <li>・ 生徒指導の面では、登下校時や昼休み等の校内外巡視やスクールカウンセラーとの連携を通して、生徒指導上の問題を未然に防止し、生徒理解にも繋がった。全体として授業態度を始めとして、落ち着いた学校生活を送れている。</li> <li>・ 進路指導の面では、進学・就職希望者とも決定率100%を達成した。</li> </ul>	1 学力の向上と定着	① 創意工夫を凝らした教材研究や教員相互の積極的な授業研修等を通じて、よりよい授業を展開する。 ② シラバスを活用して学習意欲や学習態度の喚起を図り、継続的・計画的な学習をさせる。 ③ 少人数・習熟度別授業を有効に活用し、基礎学力の向上及び定着を図る。	A
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒指導の面では、登下校時や昼休み等の校内外巡視やスクールカウンセラーとの連携を通して、生徒指導上の問題を未然に防止し、生徒理解にも繋がった。全体として授業態度を始めとして、落ち着いた学校生活を送れている。</li> <li>・ 進路指導の面では、進学・就職希望者とも決定率100%を達成した。</li> </ul>	2 基本的生活習慣の確立	④ 頭髪・服装指導や遅刻防止の指導を徹底して、基本的生活習慣を確立させる。 ⑤ 登下校時や授業開始・終了時、校内での挨拶を徹底させる。 ⑥ 年3回の計画的な面談や家庭訪問、スクールカウンセラーとの連携等を通して生徒理解に努める。	B
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 進路指導の面では、進学・就職希望者とも決定率100%を達成した。</li> </ul>	3 希望する進路の実現	⑦ 3年間を見通した計画的なキャリア教育を実践する。 ⑧ キャンパス・職場見学、インターンシップ、各種説明会等により進路意識を高揚させる。 ⑨ 学力向上と定着の取り組みや資格取得の奨励を通して、より確かな進路実現を目指す。	A
<p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業の工夫をさらに進めて、基礎学力の定着度を上げ、より多くの達成感を生徒に与える。</li> <li>・ 1年生の1学期からの部活動加入をさらに奨励することにより部活動の活性化を図る。自転車</li> <li>・ バイクの乗り方や公共マナーを指導する。</li> <li>・ 3年間を見通したキャリア教育をさらに充実させ、早期から進路意識を涵養する。</li> <li>・ 学習・特別活動・部活動等あらゆる活動から生徒の積極性を伸ばす工夫が必要である。</li> </ul>	4 特別活動及び部活動の活性化と豊かな人間性の涵養	⑩ 学校行事や生徒会活動、ホームルーム活動を通して、生徒の積極性を引き出す。 ⑪ 生徒の部活動への積極的な参加を促して、望ましい人間関係をつくり充実した学校生活になるようにする。 ⑫ 自他の生命を尊重し、他人を思いやる心を育て、豊かな人間性を培う。	A
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3年間を見通したキャリア教育をさらに充実させ、早期から進路意識を涵養する。</li> <li>・ 学習・特別活動・部活動等あらゆる活動から生徒の積極性を伸ばす工夫が必要である。</li> </ul>	5 地域から信頼される学校づくりの推進	⑬ ホームページや地域広報誌、学校新聞等のPR手段を十分に活用して、保護者・地域に対し、積極的に本校の情報を発信、提供する。 ⑭ 学校評議員や近隣中学校等の意見を取り入れ、地域と連携した教育活動を展開する。 ⑮ 学校公開を計画的に実施して、本校に対する地域の理解促進を図る。 ⑯ 25年度からの分校化に伴い、分校としての特長を活かしながら地域との連携を図る。	A

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価		次年度への主な課題	
教科指導	学力の向上と学習意欲の喚起	創意工夫を凝らした教材研究や少人数編成授業，シラバスの活用，良さを引き出す適切な学習評価，わかりやすい授業の研究・展開等によって，生徒の学力を高めるとともに学習意欲を喚起する。 ①②③	A	A	・家庭学習習慣の確立	
教 科	国語	基礎的な国語力の習得	基礎的な漢字・語彙を反復練習して基礎学力を身に付け，自分のものとして応用できる国語力を育成する。 ①②③	A	A	・基礎学力の向上及び定着を図るためのきめ細かな指導の徹底と表現力向上のための指導の工夫
		読書習慣の習得	読書する楽しみを身に付け，自らの読書体験から感性を豊かにし，様々なものの見方，感じ方を知り，豊かな人生を歩める基礎を育成する。 ①②	A		
		作文の基礎的な表記の習得	基礎的な文章を表現する知識を学び，自分の考えや意見を正しく表現できる力を育成する。 ①②③	B		
	地歴・公民	地理・歴史についての基礎的事項の理解の徹底	地図帳を歴史の授業でも使用し，世界や日本の地理に親しませ，地理や歴史の基礎的事項の理解を深め定着を図る。 ①③	B	A	・地図の活用から，日本と世界の位置関係を把握し，社会的な見方を向上させる指導の工夫
		現代社会の諸問題への興味・関心の喚起・解決についての考察	現代社会の基礎的な事項を学ぶと共に，新聞を読んだり，時事問題の視聴覚教材を活用することで現代の諸問題への関心をもたせ，意見・感想等を書くことにより，主体的な解決の方法について考えさせる。 ①②③	A		
	数学	基礎学力の定着	授業や朝トレで基本的な演習を繰り返し行うことにより，基礎計算力の向上と定着を図る。 ③	B	A	・朝トレの時間や授業時間において基礎学力の向上や定着を図る。
		問題解決力の向上	数学の解法を学習する過程において，問題を解決するための論路的思考を体験させ，問題解決力の向上を図ると共に応用力を身に付ける。 ①②	A		
	理科	自然科学に対する興味・関心の向上	写真やイラスト及び実物等の提示や実験等の工夫を年間25回以上行い，自然科学に関する情報を数多く紹介する。 ①②	B	B	・実験等を工夫をさらに工夫していく。
		基礎学力の充実	生徒の実態に応じたプリントやワークブック等を活用した学習等を年間15回以上行う。 ①②	A		
	保健 体育	健康の保持増進と危険回避能力育成	健康や安全に関する課題に直面したときに，科学的な思考と正しい判断に基づく意志決定や行動選択を行い，適切に実践できるような資質や能力を養う。 ①②	A	A	・新体力テストの結果を踏まえ，自ら運動処方を考え，実践できるための指導の工夫
体力の向上		自己の体力や身体能力を知り，考えながら補強運動を実践することができるようにする。 ①	B			
応急手当と心肺蘇生法の習得		RICE等の様々な応急手当を身に付ける。心肺蘇生法の実習を行い，自ら進んで応急手当が実行できる技術を養う。（AED救命講習を含む） ①②	A			
芸術	音楽を愛好する心情の育成	音楽に取り組むために必要な読譜力を向上させ，より積極的に音楽に親しみ，取り組む態度や姿勢を育成する。 ③	A	A	・個に応じた指導で，音楽の基礎的な能力の定着を図り，1人1人がより深く音楽活動に関わる姿勢を育成する。	
		豊富な題材の研究から，本校生徒の実情に即した題材に取り組ませる。 ②③	A			
	感性の向上，創造的な表現と鑑賞の能力の伸長	様々な楽器の奏法や作曲法・発声法を学んだり，音色や楽曲の美しさを感じ取らせることで，感性を豊かにし，創造的な表現能力を伸ばす。 ③ 楽曲から作曲者の人生や作品の時代的背景を学び，総合的に鑑賞を行い，創造的な鑑賞能力を伸ばす。 ③	B A			
英語	コミュニケーション能力の育成	4技能を総合的・有機的に関連させた指導を実践して，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てると共に，その能力の向上を目指す。 ①②③	A	A	・4技能を統合しながら，わかりやすい授業のために，	
	基本的な語彙及び文法事項	基本的な語彙及び文法事項の指導を継続的に行い，英語による言語活動の基礎づくりを進め	A			

	項の定着	る。	①②③			教材研究や教員の英語運用を考え直す。
	指導計画の工夫改善	英語を使ったわかりやすい授業を実践するために、指導計画の工夫と改善に努める。	①②③	B		
家庭	基礎的・基本的な知識及び技術の習得	日常生活に必要な基本的な知識を習得すると共に、実験・実習を通し、基礎的・基本的技術を習得する。	①②	A	A	・実習においては個別指導をさらに充実させ、応用的技術の習得を図る。
	専門科目を通しての知識・技術の向上	日常着の製作を通して『家庭総合』で習得した基礎的・基本的技術を定着させ、更に応用的知識・技術の習得を目指す。	②③	B		
情報	情報を活用する実践力の育成	Word, Excel, PowerPointといった一般的な事務処理ソフトウェアの基本的な知識・技能を習得し、マルチメディア・インターネット・ネットワークを活用できる実践力を育成する。	①	A	B	・学力差のある生徒の指導法について工夫する。
	情報社会における望ましい態度の育成	著作権や情報モラル等の情報倫理を身に付け、コンピューターやインターネットを利用する際のマナーを高める指導を展開する。	①	B		
総合的な学習の時間	進路意識の高揚とコミュニケーション能力及び規範意識の育成	3年間を見据えた進路ガイダンスやコミュニケーション演習及びソーシャルマナー演習等を進路実現に向けて計画的に実施する。これらにより自分の進路を選択・決定する力の育成を図る。また、コミュニケーション能力や社会で求められる規律やマナーを学ぶことにより、健全な社会人としての意識を涵養する。	④⑦⑧	A	A	・外部講師の先生方と協力し、コミュニケーション能力や規範意識の更なる向上を図る。
	マナーの修得と自他を大切に作る心の育成	自他の生命や人権を尊重し、思いやりの精神・他者を理解する心をもたせると共にマナーの必要性を自覚させる。さらに、外部講師の講話等を通して、将来、社会の一員として自覚ある行動ができるよう、公共心を育み、自己実現に向けて努力する心を養う。	⑫	A	A	・生徒の更なる心の成長を図れるよう継続する。
教 務 (含渉外)	授業時間の確保	授業実施時間数の確保に常に留意すると共に、特編時間割の運用を工夫する。	①②③	B	A	・更なる授業時間の確保とPR活動を継続する。 ・学年・各部との連携を一層深める。
	観点別評価の更なる推進	観点別学習状況評価の実施を、学校や生徒の特性に応じて工夫しながら推進する。	①②③	B		
	公開授業の実施	計画的な公開授業を行って、地域への情報発信及び教員研修の機会を増やす。	①⑬⑭⑮⑯	A		
	学年や各部との連携	教育活動の円滑な運営のために、学年・部・教科との連携に絶えず努める。	①⑩	A		
	充実したPR活動の継続	地域広報誌や校内新聞、ホームページ等を利用して、学校に関する情報の効果的な発信を継続する。	⑬⑭⑮⑯	A		
	水戸桜ノ牧本校との連携	水戸桜ノ牧本校との日程調整等を確実にし、齟齬のない学校運営に配慮する。	⑬⑭⑮⑯	A		
	効率的なPTA組織とその運営	保護者と教職員の連絡を密にし、より効率的なPTAの組織づくりと運営を目指す。	⑬⑭⑮⑯	A		
生徒指導 (含特別活動)	基本的生活習慣の育成	早朝校内外立哨指導や校内巡視及び生徒による挨拶運動等により挨拶の励行を図る。	④⑤⑭	A	A	・全教職員が共通理解、共通行動を基本として日々の生徒指導を実践していく体制の徹底を図る。
		H R・生徒面談・集会を通し、時間や規則を守ることなどの規範意識を高揚させる。(遅刻・欠席の防止)	④⑤⑥	B		
		頭髪・服装指導の徹底と規則の遵守(喫煙等生徒指導事故の防止)	④⑥	B		
	交通安全教育の推進	自転車・バイク安全点検と安全運転の徹底、交通安全講話の実施と公共マナーの指導、校外立哨指導の充実	⑤⑭	A		
	部活動の充実	部活動加入率の増加を図る。(1年生1学期間の全員部加入の実施)	⑪	A		
学校行事の円滑な運営	ツールド常北・クラスマッチ・文化祭など行事の円滑な運営と充実に努める。	⑤⑩	A			

進路指導	進路意識の喚起	進路講演会・進路ガイダンス・マナー講習等を通して、自分の将来について自ら選択し準備する力を育成する。 ⑦	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種行事が進路選択の一助となるよう、事前・事後の指導を充実させる。</li> <li>・資格取得に向けた指導や助言を計画的に行う。</li> </ul>
	基礎学力の向上	各種検定試験、就職・進学試験の合格を目指し、朝のトレーニングタイム等を充実させ基礎的な力を習得させる。 ⑦⑨	B		
	面接指導の徹底	進路決定に向けて面接のマナーや自己表現の仕方を習得させる。 ⑦	A		
	インターンシップの充実	2年時において職業体験をすることにより、職業観や勤労観、更には進路を主体的に選択する能力を育成する。 ⑧	A		
保健厚生	保健管理・保健指導の充実	健康診断結果及び各種行事前の問診を通して自身の健康について振り返り、健康を管理できる力を養う。 ④⑫	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校安全（特に防災面）において、生徒の危機管理意識の高揚を図ると共に、物資の確保や緊急時の対応等再考が必要である。</li> </ul>
		日頃から担任・学年等と連携し、スクールカウンセラーを活用した「こころの健康」の管理に努める。 ⑥⑫	A		
	健康で安全な学校環境の整備・美化	ゴミの分別等について啓発活動を行い、意識の高揚を図ると共に、環境美化に努める。 ⑩⑫	B		
		日頃から施設設備の安全を確保すると共に、救急処置等の保健指導の中で生徒の危機管理能力を養う。 ⑫	A		
地域と連携した防災教育の推進	地域と連携した防災講話・避難訓練を実施し、震災などの非常時に適切な行動がとれるようにする。 ⑩⑫⑭	B			
第3学年	基本的生活習慣の確立	遅刻カードの利用により、遅刻防止や時間厳守の態度を身に付けさせる。学校生活全体を通して、挨拶の励行ときちんとした服装の着用を促す。HRや授業、生徒指導部と連携しながら、指導の徹底を図る。 ④⑤⑥	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HRや授業、生徒指導部との連携指導を充実させて基本的生活習慣の一層の確立を図ると共に、社会人としての自覚をもたせられるようにする。</li> </ul>
	進路実現に向けた取り組みの充実	LHRや総合を活用し、外部講師と連携・協働した進路ガイダンスや面接指導等を積極的に取り入れて、進路希望実現に向けた意欲の向上を図る。 少人数授業や課外及び朝のトレーニングタイムを有効に活用し、各自の進路に適應できる基礎学力の向上を図り、進路指導部と連携を深めながら全員の進路決定を目指す。 ①⑦⑧⑨	A		
	リーダーシップの育成	最上級生であることを自覚させ、毎日の学校生活や学校行事及び部活動を通して、社会生活で生きるリーダーシップを育む。 ⑩⑪	A		
第2学年	基本的生活習慣の確立	早朝の立哨指導や朝のSHRを通し、挨拶の励行ときちんとした服装の着用を促すよう指導を徹底する。遅刻カードの利用により、遅刻防止や時間厳守の態度を身に付けさせると共に、事前連絡を徹底させる。家庭や生徒指導部と連携しながら、指導の徹底を図る。 ④⑤⑥	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション能力やマナーを身に付ける機会をさらに増やし、よりよい人間関係の形成につながるよう生徒たちへの更なる意識付けを図る。</li> </ul>
	基礎学力の向上	授業および「朝のトレーニングタイム」に意欲的、継続的に取り組むような学習習慣を身に付けさせ、基礎学力の向上を図る。教科担当者と連携し、指導の徹底を図る。 ⑨	A		
	進路意識の喚起	担任による面談等で個別対応を適切に行い、本人と保護者間での進路に対する相互理解を深められるよう促す。進路ガイダンスやコミュニケーション演習を通して生徒の進路意識を高め、インターンシップにより将来の目標の明確化を図る。 ⑦⑧	B		
	豊かな心の育成	修学旅行及びその事前学習を通して生徒の平和への思いを醸成し、自然の豊かさに触れさせることにより、豊かな心を育成する。ソーシャルマナー演習・コミュニケーション演習等を通して、他人に対する思いやりの心や礼儀の大切さを学ばせる。LHRの時間や学校行事等を通し、友情を育て、自他を大切にすることを育む。 ⑩⑪⑫	A		

第1学年	基本的な生活習慣の確立	昇降口指導やHR等で、挨拶の励行ときちんとした服装の着用を促すよう指導を徹底する。遅刻カードや学年での遅刻指導を徹底し、遅刻防止や時間厳守の態度を身に付けさせると共に、体調管理や事前準備の重要性を認識させる。 ④⑤⑥	B	A	・自らの進路目標を早い段階でもたせることで、授業に対する大切さや学校生活の意義を自覚させられるようにする。
	基礎学力の向上	「朝のトレーニングタイム」や朝読に意欲的に取り組むことにより、基礎学力の定着・集中力の向上を目指す。授業中に教室巡視を行い、授業に取り組む姿勢を身に付けさせる。 ②③	B		
	進路意識の喚起	進路ガイダンスや進路指導ワークを活用して進路指導を充実させると共に、担任による面談等で個別対応を適切に行い、生徒の進路意識の向上を図る。 ⑦⑧	A		
	豊かな心の育成	LHRや道徳の時間を通して、友情や自他を大切にする心を育むと共に、ソーシャルマナー演習・異文化体験・コミュニケーション演習等を通して、他人に対する思いやりの心や礼儀の大切さを学ばせる。 ⑤⑩⑫	A		

※評価規準： A = 大変良く達成できた。 B = よく達成できた。 C = 普通である。 D = やや不十分である。 E = 不十分である。